

2013 春の
ワークショップ

実践！ ペアレント・トレーニング プログラム ～自閉症児の心理臨床～

広汎性発達障害児の養育に悩む母親への援助プログラム（ペアレント・トレーニング プログラム）に関する ワークショップを実施いたします。

主な内容は、

- ◆ ペアレント・トレーニングのコンセプトと進め方
- ◆ 母親の苦悩をどう理解し、母親グループの中でどう支えるか
- ◆ ペアレント・トレーニングを進める際に大切にしたいポイント

講師：久保 信代 先生

関西福祉科学大学、心理・教育相談センター専任講師

プロフィール:

国際基督教大学教養学部教育学科卒(専攻:心理学)

Lesley College Graduate School 修了

1992年～1998年、アメリカの自閉症児教育プログラムにて、幼児から成人までの支援に関わる。帰国後、その知見を基に臨床活動に従事。現在、発達障害児への治療教育、プレイセラピー、当事者や家族に対する臨床活動、教育関係者へのコンサルテーションやセミナー、発達障害児養育者へのペアレント・トレーニングを行っている。

🍒 日 時：2013年2月2日(土)10:00～16:00(受付9:45～)

🍒 場 所：ホテル「ホップイン」アミング (JR 尼崎駅から直結)

🍒 対 象：臨床心理士 および 教育,療育,福祉等の関係者

🍒 定 員：20名 (先着順)

🍒 参加費：8,000円

※研修ポイント：日本臨床心理士資格認定協会の研修ポイントを申請予定。(2ポイント)

お申込み

office1102@saitokodomo.com

名前・所属・メールアドレスをご記入の上、上記アドレスまでお申し込みください。

詳しくは下記ホームページに掲載予定

<http://saitokodomo.com>

大阪彩都心理センター

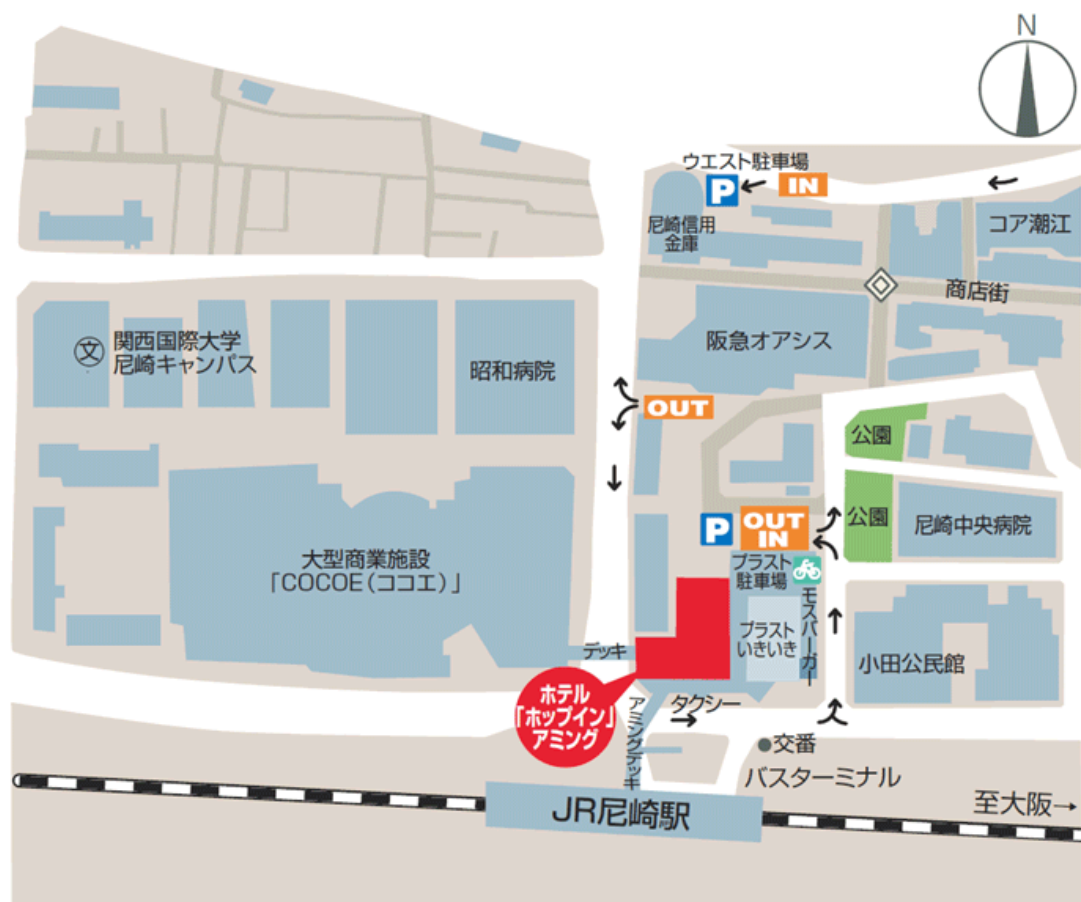
講師：久保信代先生より

広汎性発達障害(PDD)を抱える子どもを養育する母親が、大きな不安と疲弊感の中におかれている実態が報告されています。子どもの独特な性質によって親子の呼吸が合いにくい、手本となる養育モデルが無い、支援資源の不足、将来的への不安、孤立感…。このような実情は虐待を生み出す状況と重なる部分が大きく、実際に発達障害児が被る虐待リスクの高さは決して楽観視できません。

こうした現状をふまえ、PDD 児の母親を対象に、養育スキルの向上と子育て不安の軽減を目指してペアレント・トレーニング(PT)のグループを実践しています。訓練の場であるとともに、グループとしての力動が働く場でもあることから、指導者には心理臨床的な視点は外せません。個々の内包する不安、怒り、絶望感、孤独感の問題と向き合いつつ、必要なトレーニングを提供することが大事なのです。PT の奥の深さはそこにあります。本ワークショップでは、PDD 児の母親への PT プログラムにおいて、その効果に影響を与えるいくつかの要素を論じたいと思います。前半は現在実践中のプログラムの概要を紹介します。後半は、PDD 児への養育に悩む母親への PT プログラムのなかで、演者が大事にしているポイントを体験的に学んでいただく機会にしたいと思います。

ごく普通の個人から PDD 児の養育という特別の機能を果たす母親に変化するまでに、セラピストとして如何に支援していくか…。皆様と共に学び、考え、各人のスキルアップにつながる機会になれば幸いです。

アクセス



★所在地

〒661-0976

兵庫県尼崎市潮江1丁目4番1号 電話 06-6491-0002(代表)